



学校便り

だしる

自主・向学・協調・練磨

錦江町立田代中学校

令和7年7月18日発行

合い言葉 **やればできる**

未来のあるべき姿

校長 土岐 邦寿

7月に入り、校内で二つの講演を聴くことができました。大変興味深い話を聞くことができましたので、紹介したいと思います。

1つ目は、キャリア教育福祉講話として、2年生対象に行いました。講師は加藤忠相（ただすけ）さん。神奈川県で福祉サービスの株式会社「あおいけあ」を立ち上げて、取り組んでいらっしゃる方です。小規模多機能型居宅介護を全国に先駆けて作り、NHK番組「プロフェッショナル仕事の流儀」で紹介されたり、映画化「ケアニン～あなたでよかった～」されたりしています。講話を聞いて驚きました。私が持っている介護施設やデイケアなどのイメージがそこにはありませんでした。高齢者の方々が生き生きとしているのです。この施設に来るまでは、痴ほうや徘徊で周りに迷惑がられていた方々が、立派なコミュニティーを作っているのです。なぜそこまで違うのか、そのキーワードは「特技」を活かすということでした。施設には元大工、元コック、元農家、元庭師、元美容師などその道のプロの方々が在籍しています。その方々に仕事の依頼をすると、どうでしょう。徘徊して困っていたはずなのに、外部に発注するよりずっと丁寧に仕事をこなしてくださるのです。たたき上げた腕は簡単には鈍らないということです。仕事を任されている時の姿は笑顔で光り輝いていました。この事業の成功の秘密は入居するとき、聞き取り調査を丁寧に行うこと。職業や特技、趣味、また若いときには〇〇をしていたなど、個人ファイルにびっしりと書いてありました。新入職員はそのファイルを見て、特技などを覚えることが最初の仕事なのだそうです。映像を見せていただきましたが、明るく元気に仕事をしている姿にハッとしました。これは、今田代で元気に活躍されている高齢者の方々そのものではないか。高齢化社会を解決するキーワードは実は田代の中に隠れているのではないか。そう思わせる講話でした。



2つ目は、教育講演会として、全校生徒、保護者対象に行いました。講師は神川地区に令和5年設立された「エーゼログループ錦江町支社」支店長の大井健史さんです。この会社はローカルベンチャーの発掘を目的とした「新たな事業創出に向けた地域資源の発掘や地域内外の共創基盤の整備」（会社ホームページより抜粋）を行います。つまり若者がやってみたい、チャレンジしたいという心を大切に、起業の手助けをする会社です。北海道出身の大井さんは、卒業後リクルートに就職したものの、ムラ興しという新しい夢を持ちはじめ、新しくエーゼログループに入社し、岡山県西粟倉村の移住・起業支援の企画や運営を行っていました。その後、錦江町の支店設立に伴い移住し、「町内に挑戦と応援の文化を育む」ミッションに挑戦しています。「里山文化」を大切にしながら、地域ならではの特徴を活かした商品作り、作物、イベントや体験活動などを行うことにより、都会人が憧れる空間を作っていくことが生き残る道の一つ。みんなで知恵を出し合い、ムラ興しをしていきたいと思いますという話でした。

少子高齢化は待ったなしの状況まで来ています。田代を盛り上げるために自分ならどのようなことができるのか考える良い機会だったと思います。夏休みは地域に帰り、活動する時間が増えます。ぜひ、イベント等に参加して田代を盛り上げてほしいと思います。良い夏休みをお過ごしください。